

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.274

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：森泉 武人

第96回 全国安全週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 柴田 英彦



神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方におかれましては、日ごろから労働基準行政、とりわけ労働災害の防止に格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ここ数年、新型コロナウイルスの猛威のため、苦しい日々が続きましたが、本年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に見直され、日常生活を取り戻しつつある中、今年の全国安全週間が展開されます。この全国安全週間は「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、昭和3年に初めて実施されて以来一度も中断することなく、今年で96回目を迎えることとなりました。

この間、事業場では労使が協調して、労働災害防止に努力してきたことにより労働災害は長期的には減少してきていますが、令和4年の労働災害については、死亡災害は前年を下回ったものの、休業4日以上死傷災害は前年を上回り、近年、増加傾向に歯止めがかからない状況になっています。これらの状況を踏まえ、第96回全国安全週間では、労働災害を減少させ、安全に働くことができる職場環境が築けるよう、第14次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進するための不断の努力が必要であって、労使一丸となった取り組みを進めるため、「**高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場**」をスローガンに6月を準備期間、7月1日から7日までを本週間として展開されます。また、本週間の初日である7月1日は、昭和35年から始まった「国民安全の日」にもなっています。この国民安全の日は、昭和30年代前半に産業災害や自動車事故の急増を受けて、昭和35年5月、安全意識の高揚、安全水準向上のための国民運動展開のため創設されています。

ところで、令和4年の労働災害の発生状況を見ても、全国的には新型コロナウイルス関連を除き死亡者数は減少しているものの、休業4日以上死傷者数は2年連続で増加しています。また、神奈川労働局管内でも、死亡者数は29人と大きく減少したものの、死傷者数は約7800人と3年連続で増加しています。ここ平塚署管内は、死亡災害は引き続き0

人を維持しましたが、死傷者数は509人と2年連続増加しています。

このような状況を踏まえて、今年度から始まる第14次労働災害防止計画では、労働災害の発生率の高い、①中小事業者、②労働者の作業行動、③高齢労働者及び外国人労働者を重点事項としてまとめられています。業種別対策では、①製造業における「はさまれ・巻き込まれ」災害、②建設業における「墜落・転落」災害、③運送事業における「荷役作業」災害が重点事項になっています。業種別対策以外の対策は、業種横断的な取り組みであり、異業種の取り組みであっても十分に活用できるものです。情報通信社会の成熟に連れて、近年、労働災害防止活動でも啓発に力点を置き、好事例の収集・発信により、他の事業場での取り組みを取り入れてもらうことで災害防止活動の向上を目指しています。平塚署でも昨年から始めた「**630活動**」をさらに発展させ、今年度は、管内事業者の好事例を募集し、情報発信を進めております。「630活動」は、昨年、全国安全週間の機運を高めるため取り入れたもので、労働災害ゼロを目指して、「**6月30日**」を「**ろうさいゼロ**」の日とし、安全週間における実施事項の総点検を促す活動となっています。今年度も引き続き行っておりますので、ご協力をお願いします。また、健康確保対策では時間外労働の上限規制の適用、年次有給休暇の取得促進、勤務間インターバルの導入など労働時間管理の重要性が盛り込まれています。働き方改革を着実に進めることによって、実労働時間が短縮され、集中力も持続します。過労死事案等を防ぐだけでなく、労働災害防止にも繋がるものです。

全国安全週間、国民安全の日、いずれも災害撲滅に向けて設定されたものです。その趣旨を踏まえて、一つでも労働災害がなくなるよう、この全国安全週間を機に経営トップによる安全への所信表明や職場の総点検等各種行事実施などの取り組みを行い、労働災害防止の重要性を再認識して、安全文化を醸成すべく安全衛生活動を引き続き推進するとともに、皆様方の置かれたそれぞれの立場から職場の安全意識の高揚につなげていただければ幸いです。最後になりましたが、会員事業場の皆様方のますますの御発展と御健勝をお祈り申し上げます。

令和5年度 全国安全週間スローガン

高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

全国安全週間 平塚地区促進大会

6月9日(金)平塚市中央公民館において「令和5年度第96回全国安全週間 平塚地区促進大会」が「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災害職場」をスローガンのもとで開催されました。

大会は神奈川県労働安全衛生協会平塚支部の村山支部長による開会のご挨拶があり、引き続き平塚労働基準監督署柴田署長、平塚市 落合市長による来賓挨拶を頂き、その後、平塚労働基準監督署 空野安全衛生課長より「安全週間」の趣旨として、安全週間の実施要綱、労働災害発生状況、本年3月に策定された「第14次労働災害防止計画」についてご説明があり、施策を着実に推進するための不断の努力が必要であり、初年度となる令和5年度は労使一体となった取組みが求められるとのお話でした。

休憩をはさみ、特別講演として「ものづくりの現場で働

くロボット達」と題して株式会社不二越ロボット事業部 制御ソフトチーフ 中井徹志様よりご講演を頂きました。

最後に、神奈川県労働安全衛生協会平塚支部の村山支部長より閉会のご挨拶があり本大会を終了しました。

(株)KMCT 小山記



労働災害発生状況 (労働者死傷病報告件数)

(令和5年4月末日時点)同期比暫定値

		製造業	食料品 製造業 (製造業の内数)	建設業	道路貨物運送・ 陸上貨物取扱	小売業	社会福祉 施設	飲食店	その他	計
		平塚 労働基準 監督署	令和5年	26	10	15	16	12	24	9
	うち死亡災害	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	令和4年	25	7	9	17	19	49	9	43	171
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和3年	21	2	18	16	24	16	5	52	152
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神奈川 労働局	令和5年	258	86	188	258	221	494	78	923	2,420
	うち死亡災害	1	0	5	1	0	0	0	4	11
	令和4年	262	79	204	315	254	899	87	1,023	3,044
	うち死亡災害	0	0	1	0	1	1	0	4	7
	令和3年	236	72	156	292	241	256	85	636	1,902
	うち死亡災害	2	0	3	0	0	1	0	1	7



「がんになっても、あきらめないで」

株式会社小松製作所 湘南健康管理室 産業医 井上 俊介

毎年、健康診断の結果が返ってくると一定数、がんの方が見つかります。診断されると、とても不安になってしまふものです。中には診断後1~3か月で退職を決めてしまう「びっくり退職」をされる方もいます。

「治療と仕事の両立支援」という言葉をご存知でしょうか。近年、医療技術の進歩や定年延長などにより、疾患を持ちながらも仕事を続けたいと思う労働者が増えています。彼らを職場や医療機関など様々な立場から、治療を継続しながら就労できるよう支援することを「治療と仕事の両立支援」と呼びます。

がんと診断され、病気休業後、部分的にでも復職できた

方は半年で71.6%、1年間で80.9%とされています(完全復職は半年で47.1%、1年間で62.3%)。もし身近にがんが見つかった方がいれば、産業医や保健師、衛生推進者等、社内の相談窓口となる方をご紹介します。

がんになった方への安全配慮も気になる点です。どんな勤務内容かを「勤務状況報告書」としてご本人・上司等で作成し、本人を通じ主治医に渡し、主治医が「意見書」として答えてくれる仕組みが両立支援にあります。詳細は厚生労働省「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」をご覧ください。

以上

平塚労働基準監督署からのお知らせ

1 労働保険の年度更新のお願い

今年度の年度更新は、6月1日から7月10日までです。

令和4年度分の確定保険料は労災保険分と雇用保険分ごとに、前後期に分けて算出します。これに伴い、年度更新申告書と確定保険料一般拠出金算定基礎賃金集計表の様式を変更しています。

令和4年度の確定保険料は、次の手順で算定することになります。

ステップ1

- 「確定保険料一般拠出金算定基礎賃金集計表」に賃金の総額を記入し、前期・後期別に集計します。

ステップ2

- 「確定保険料一般拠出金算定基礎賃金集計表」の下段に新規に設けられた「令和4年度確定保険料算定内訳」欄を使用し、保険料算定基礎額と保険料額を前期・後期別に算出します。

ステップ3

- ステップ2で算出した保険料算定基礎額と保険料額を、年度更新申告書の下段に新規に設けられた「⑳期間別確定保険料算定内訳」欄及び申告書中段の「確定保険料算定内訳」欄に各々転記します。

令和5年度
申告と納付はお早めに
労働保険の年度更新
(労災保険・雇用保険)
6.1木 ~ 7.10月

●年度更新申告書は5月末頃に送付する予定です。●口座振替による納付が便利です。
●電子申請は時間帯を問わず、いつでも申請が可能です。是非ご利用ください。

厚生労働省年度更新お知らせページ 年度更新 お知らせ 検索

厚生労働省
厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署・公共職業安定所
(一社)全国労働保険事務組合連合会・全国社会保険労務士会連合会
厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp

※年度更新に関するお問い合わせは当署労災課までお願いします。

~let's GO safe~
安全に行こう!
ろう さい ぜろ
6 3 0
ケガは 無事故で帰ろう
今年もやります労災ゼロの日
6月30日は全国安全週間準備期間の最終日です。
7月1日からの本週間に備え、労働災害を防止するために
職場の安全衛生点検に努めましょう!
また、一年の折り返しの日でもあり上半期の振り返りを行い
下半期の安全活動へつなげましょう!

負傷・怪我 痛い! → 疾病・中毒 苦しい! → メンタルヘルス つらい!
STOP!

労働災害で「痛い」「苦しい」「つらい」思いをする人を無くすため
安全衛生活動に関する各種取り組みにご協力をお願いします

Better Health and Safety from SYONAN-HIRATSUKA
~よりよい安全衛生活動を!~
必要最低限ではなく、よりよい安全衛生活動を推進しましょう!

2 今年もやります「630」活動

- 労働災害「ゼロ」を目指して、昨年からはじめた「630」活動を、令和5年に掛けて、「let's GO safe 安全に行こう!」をサブタイトルに付して、今年も展開します。
- 6月30日は、全国安全週間準備月間の最終日で、1年の折り返し地点になります。日頃の安全活動の総点検を実施して、7月1週目の全国安全週間を無事に終わらしましょう。
- 今年も、各事業場での安全対策等の好事例を収集して、HPでの情報発信に努めます。積極的に応募をお願いします。





雑感

『還暦』に想ふ

日産車体マニファクチャリング株式会社 近藤 治光

私事ですが、昨年の10月に還暦を迎えました。高校を卒業し就職してから42年間、振り返れば早くもあり長かったとも思えます。一昔前までは「還暦」といえば、赤いチャンチャンコを着て、孫に囲まれてご隠居という情景が定番だったようですが、昨今では、年金の支給年齢も引き上げられ、多くの方々は、「嘱託員」として、継続して勤務されるケースが多いと聞きます。かくいう私も、引き続きお世話になっている次第です。

さて、話題を変えて、日本人の平均寿命は80歳を大幅に超え、高齢化社会が深刻化している一方で、健康寿命と言われる「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」は、70歳～75歳となっており、少なくとも約10年間は、何らかのお世話にならないと生活ができないという統計もあります。如何に健康で長生きできるかが、今後の課題と考えられます。私自身これまで、特に趣味を持たず日々追われるように過ごして来ました。

今思うと「若いころに打ち込めるものを見つけ、もっと努力をしておけば良かったな」という多少の後悔はありますが、ものごとを始めるのに年齢は関係なく、要は「やる気」とも言いますので、老け込まないように、何か「生き甲斐」を見つけないかと考えています。若さを表す指標としては、見た目・体力・根気などありますが、身体的な部分では「病気をしない」「食事が美味しい」「足腰が丈夫」などがあげられ、精神的な部分では「悩み・不安がない」「幸福を感じる」「前向きに生きる」など、また社会的には「人間関係が良好」「他人を愛する」「感謝の気持ちを持つ」など、身体と心のバランスが取れて初めて健康と言えると考えます。

これまでの人とのつながりや出逢いに感謝し、これからは社会貢献や地域活動など、色々なことに興味を持って経験することで、自身の可能性を信じて「達成感」を持てる「生き甲斐」に挑戦してみたいと思います。

『職長教育』講習会

令和5年5月17日(水)、18日(木)に平塚市勤労会館3階大会議室を会場にして、「職長教育」の講習会が実施されました。ウィズコロナ禍のなか、参加人数43人で講習会が開催されたことは非常に喜ばしいこととおもわれます。

今まで通りに、手指消毒・検温等が行われていましたが、心なしか受講者の顔は明るく感じられました。

朝9時15分の定時になり、労安協平塚支部深堀事務局長の挨拶により実際の講習会が開催となりました。講師は竹内春樹さんが午前中の担当で、「職長安全衛生教育」の講座名により講習が始まりました。講習会はテキストとパワーポイントを併用の講義を進めるとの説明があり、職長としての責務の説明から進んでいきました。ウィズコロナ禍のなかの講習会ですので、全員がマスク着用での受講であり、会話もほとんどない状態で講義が進んでいきました。

講義の中で、自分も確かかと思っしたのは次の3点です。

- ・人間はミスをする
- ・機械は故障する
- ・絶対安全はない

日々の作業の中で、これからもこのことに注意していこうと思いました。取材に来ていたのに、自分も受講生のように聞いてしまいました。講師の方のお話が上手なのか、つい自分も話に聞き入ってしまいました。受講生の方々も、講師の方の講義に集中して、有意義な2日間を過ごされることを思い会場を後にしました。

(株)山川機械製作所 麻生 記



編集後記

令和2年5月20日に発刊した本協会紙(261号)で、初めて「新型コロナ」という文字が登場しました。

それ以降、本協会紙の中で新型コロナに関する記事やコメントが絶える事は一度もなく、振り返ると既に3年の月日が経っています。

未知のウイルスに世界中が震撼し社会生活を大きく規制する等の防衛策に取り組んだ1年目。流行と鎮静を繰り返す中で未知だったウイルスの特性が少しずつ解明され、ワクチン接種による防衛策を取り始めた2年目。ウィズコロナと

いう言葉が生まれ、過度な恐れや防衛ではなく、コロナと共存した生活へと舵を切り始めた3年目。そして今年5月には季節性インフルエンザと同様の位置づけとなり、感染防止の象徴的ともいえるマスク生活にも大きな変化が出てきています。

協会員皆さんの自身や会社も、徐々にコロナ前の状態に戻りつつある部分や、コロナ禍で経験した事を生かして、新しい会社スタイルへ変革している部分もあるでしょう。辛い経験ではありましたが、その経験をこれからの生活に生かすことで、真の意味でコロナを乗り越えたと言えるのではないのでしょうか。前を向いて進んでいきましょう。

(株)KELK 西久保 記